

創立148周年



学校だより
はえ
南風の子

中種子町立
南界小学校
令和4年1月20日(木)

新年・3学期を迎えて

校長 安満 浩之

新年明けましておめでとうございます

保護者や校区の皆様、それぞれの御家庭でよい年をお迎えになられたことと思います。

年末12月18日にはPTAの皆様で立派な門松を作っていただきました。ありがとうございました。感謝申し上げます。

さて、学校では正月の華やいだ気持ちも落ち着き、3学期の教育活動が始まりました。3学期の授業日数は、1～5年生が53日。6年生は52日しかありません。他と比べて短い学期ですが、どの学級でも3学期の学級や個人の目標・めあてを確認し合い、さらに一步の前進を期すように、気持ちを新たにいいスタートができたようです。

始業式では、「0学期」という言葉で、お話をしました。0学期というのは、4月に新学期が始まる前にこれまで学習してきたことをしっかり復習して、身につけておくこと。次の学年にあがるための心構えをもつことなどまとめと準備をする学期ですよ。ということです。

3学期は、1年生であれば2年生の0学期。6年生であれば、中学校1年生の0学期ということになります。

また、新年をきっかけに新たな目標もつことについてもお話しました。夢や目標をもった時には、「初志貫徹」という強い気持ちを同時に持つことが重要です。子供たちには、夢や目標に向かって新年の確実な一步を踏み出して欲しいと願っています。御家庭でも、絶えず励ましの言葉を、時に厳しく、時に温かくかけ続けていただくようお願いいたします。

「学習は、楽しいことだけ学べばいい」という風潮もあるようです。しかし、学ぶことは楽しいことばかりでなく、艱難辛苦(かんなんしんく)があることをしっかり経験させ、乗り越えさせる努力を促すことこそ、教育に求められていると考えます。絶えず、夢と希望を意識しながら、その実現に向けて努力する姿勢を育てていきたいと思えます。あきらめることなく、こつこつ努力を重ねることの意義を教え、その態度を培うのが小学生の時期なのです。

昨年4月に、一人1台のタブレットを揃えていただきました。学級の全員が写真をとったり、eライブラリーの問題にチャレンジしたりしました。また、長期休業中には家庭にもちかえて学習の道具として活用しました。1年たって教師も子供たちもICT機器に慣れ、活用ができるようになり教育効果も出てきています。

このように、新しい教育の流れも大切にした教育の展開がますますできるように、そして、どの子供にも学習した結果としての確かな力(学力)を育んでいけるよう、今年も本校職員の総力を結集し、子供たちの指導を行っていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、本年もよろしくお願ひいたします。



「立派な門松」